

古寺訪梅

渡辺郷岳

梅有りて鳥影無く

人絶えて山門在り

独り春意を尋ねんと欲すれば

飄飄として暮雪翻る

【作者】 渡辺郷岳・吟詠家

【語釈】 *春意…春ののどかな心地

*飄飄…風が吹く音。足元のふらふらして定まらないさま。当てもなくさすらうさま。

*暮雪…くれがたに降る雪。また、夕暮れの雪のながめ。

*翻る…ひらりと返る。おどり飛ぶ。